

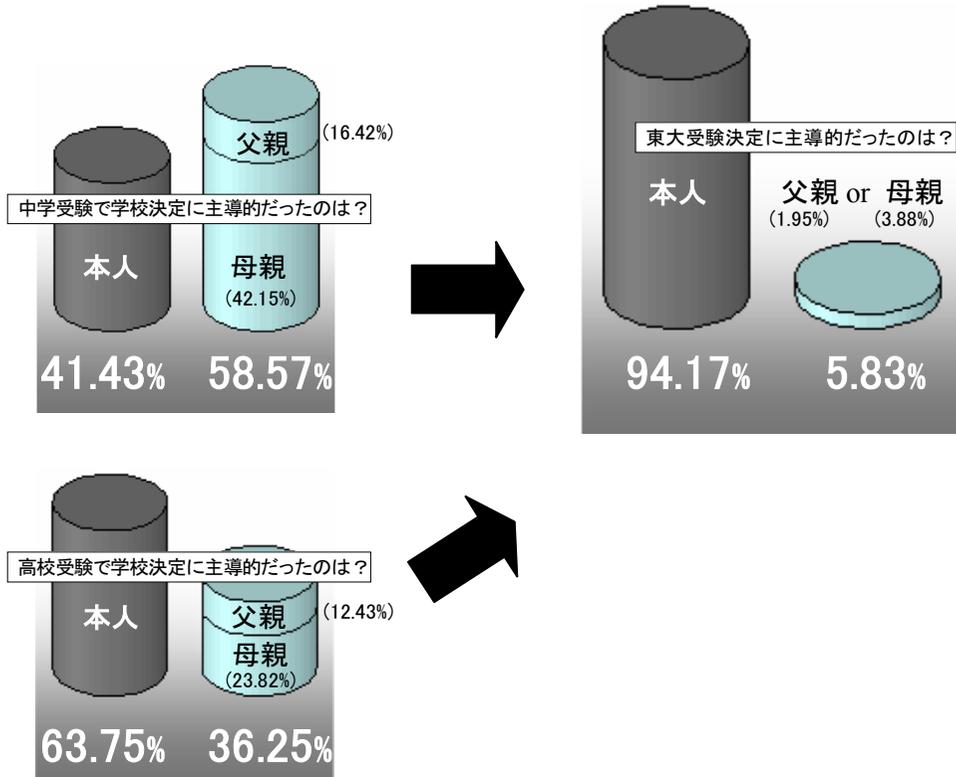
◇一期生の保護者の方にアンケートをお願いしました(2007年6月)。特徴的な傾向、及び、参考になりそうなご意見を以下にまとめました。

1. 受験校決定において主導的だったのは？

*数値は、百分率でお答えいただいたものの平均値

◆東大進学者の中学受験時(高校受験時)、大学受験時

※東大受験は本人が主体的に決定している傾向が如実に表れる結果となっています。



[ご父母からのコメント]

- ・親がいろいろ言っても聞いてくれない状況でした。私立のみ“お願い”して受けてもらった感じです。
- ・通っていた学校(麻布)の志向の影響を受けていたようだった。
- ・本人が、キャンパスツアー、オープンキャンパスなどに参加して決定していました。
- ・本人の将来の希望から決定したようです。
- ・東大しか考えていないようでした。親はどこでも良かった(東大は夢でしたが…)。

◆国公立医学部進学者

※人生の大きな決断を迫られる医学部受験は、やはり本人が主体的に選択しているようです。

本人：96.25% ご父母：3.75%

[ご父母からのコメント]

- ・全面的に本人が決めた。防衛医大の受験のみ、予行演習になると思い、親が勧めた。(横浜市医)
- ・筑波を第一志望にしたのは本人の希望通り。
- ・親は合格安全圏で家から近いところと言っていましたが、全く聞いてくれませんでした。(東北医)
- ・医学部しか受験しないという本人の強い希望があった。(岐阜医)

◆慶應・早稲田進学者

本人：64.29% ご父母：35.71%

[ご父母からのコメント]

- ・具体的な方向が決まるまでは、両親とも大学のオープンキャンパス・キャンパスツアーと一緒に参加するなど協力しましたが、最終決定は本人がしました。
- ・中学入学後に知り合ったお友達の影響が大学進学について考えるきっかけになったように思います。
- ・主人は、本人が決めることだからと、何にも言いませんでした。
- ・本人が迷っているときには相談にのりましたが、ほとんど本人の希望を中心にして受験校を決定しました。

2. 大学受験時 受験勉強への親のかかわりについて

*全然かかわらなかった場合を0%、全体的にかかわった場合を100%としてお答えいただいたものの平均値

◆東大進学者

父親：15.00% 母親：38.46%

[ご父母からのコメント]

- ・父は要所のみ指導。母はスケジュール調整や事務的手続き、毎日の送り迎え、健康管理など担当。
- ・本人主導。「自分の努力の結果は自分で背負うこと」と親は考えていた。
- ・親が「勉強しなさい」と言う年齢ではないので、気持の上では関わっていましたが、実際はほったらかしだったかも…
- ・良い仲間、先生に恵まれておりましたので、親の出る幕はありませんでした。
- ・本人にまかせきり。

◆国公立医学部進学者

父親：18.75% 母親：28.34%

[ご父母からのコメント]

- ・あまりにも難しく教えられるレベルを超えていた。ただ、小論文や面接のアドバイスはしました。
- ・勉強面では本人に100%まかせていた。
- ・父親が英数理についてわからないときは教えていた。

◆慶應・早稲田進学者

父親：21.78% 母親：41.56%

[ご父母からのコメント]

- ・親はほとんどノータッチです。
- ・長男の受験時はかなり父親もかかわっていましたが、年の離れた下の子の今回はほとんど母親が担当。
- ・息子に勉強を教えるというよりは、私自身がもう一度復習しながらみていた感じです。
- ・父親が単身赴任から戻ってきましたが、結局親がかかわることはありませんでした。

3. 大学受験時 精神面のサポート(相談にのる、励ます、しかる、気分転換をさせるなど)

*サポートしていなかった場合を0%、積極的にサポートしていた場合を100%としてお答えいただいたものの平均値

◆東大進学者

父親：31.92% 母親：63.46%

[ご父母からのコメント]

- ・安心して勉強に集中できるよう本人のペースを考え応援しました。
- ・父は主に気分転換担当（勉強のことは言わない）、母はしかる、励ます、慰めるを交互に…。
- ・父親単身赴任のため、ほとんど母親がサポート。
- ・精神面では親と言うより、先生や友達同士の励まし合いが大きかったよう。
- ・浪人はさせないと言っていたのでかえってプレッシャーをかけていたかもしれません。
- ・父親が、自分の体験を踏まえてメールのやりとりでアドバイスしていました。
- ・途中、体調を崩していた時期があり、母親のサポートが大きかった。
- ・生活面を見守っただけ。余計なことはしなかった。

◆国公立医学部進学者

父親：22.52% 母親：58.30%

[ご父母からのコメント]

- ・父親が医師なので、息子は主人といろいろ話をしていたようだ。
- ・父親は忙しくて何をやる訳でもないが、精神面では支えだった。（子にとってだけでなく母にとっても。）
- ・相談にのりましたが、どの大学に入学してもそう変わらないと言いつけるいい加減な親でした。
- ・子供の方から相談されたときだけサポートしていました。

◆慶應・早稲田進学者

父親：31.25% 母親：63.75%

[ご父母からのコメント]

- ・母親は常に細かくサポート。父親は本人を全面的に信頼し、安心させる役割でした。
- ・センターから始まり、全てのテスト終了までが長かったので、もう少しサポートが必要だったかもと反省しております。
- ・いっしょにお笑いやテレビドラマを見て気分転換に付き合いました。
- ・下の娘の中学受験と重なったので、上の娘のサポートは不十分だったかもしれません。

4. 大学受験における塾の役割をどうお考えですか？

◆東大進学者

- ・受験勉強の指導ということにおいて役割は大きいと思います。
- ・受験の技術的なサポートを大いに期待していました。また、本人にとっては受験仲間との交流を通して情報を交換したり、モチベーションを上げるための良い社交場であったようです。
- ・本人にあった塾選びが一番です。（なかなかめぐりあえないものです。）
- ・周りの生徒からの刺激を受ける場。習いたいと本人が思える先生に習える場。
- ・正直なところ、親としては大手の予備校が安心できると思い、そのように提案したが本人が却下。娘は、先生が身近に感じられる方が安心、質問しやすい、小さな塾の方が熱気が感じられる、と言っていた。
- ・本人がいかに塾を利用するか、だと思います。主体は塾ではなく本人。
- ・高校でもレベルの高い授業を受けていたようですが、やはり合格は塾のおかげだったと思います。夜遅くなるので健康面は心配していました。
- ・自由で受験体制がない学校でしたのでやはり塾は必要と感じていました。勉強の面では学校で足りない部分の強化にも塾を利用しました。
- ・学校では先生の質がピンからキリまで様々であり、補強のためには塾は必要。また、同じ目標を持つ他の生徒と競い合う環境が不可欠。
- ・自分に合う塾にめぐり会えれば未来は明るいですが、そうでないと失敗するのではないのでしょうか。

◆国公立医学部進学者

- ・高2からいろいろな科目で塾に通いましたが、結局残ったのは GNOBLE の英語だけでした。沢山の塾に通ってもバツとしない方も多いので、塾に頼りきり、というのはどうなのでしょう？？
- ・本人の志望と現状に沿って学力を上げる助けになる。
- ・学校の先生はほとんど助言をいただけなかったため、特にグノーブルのような生徒と先生の密な塾では少しでも声をかけ進路のアドバイス、応援をいただけて良いと思います。

◆慶應・早稲田進学者

- ・塾のシステムとか情報というより、自分に合った信頼できる先生が受験には必要かと思います。やはり独学は難しいかと…。これからも質の高い熱心な授業を提供し続けて頂きたいと願っております。
- ・学力の向上、苦手分野の克服、学習時間の確保など、必要不可欠です。塾には長期的に通うので、グノーブルのように、目先の受験にとらわれすぎず、真の実力をつけて頂くことが理想ですね。
- ・学校だけの勉強では、親の方も心配ですし、塾は良いライバルにも恵まれ、やる気を引き出してくれるという重要な役割を果たしていると思います。
- ・息子の学校は進学指導もクールな感じでしたので、塾はとても重要でした。
- ・志望大学に導いて下さる先生がいらっしゃるのであれば、あとは本人次第と考えます。

5. 大学受験時に親として心掛けていたことなど

◆東大進学者

- ・健康管理。受験に合わせた生活リズムの調整。勉強のペース配分のチェック。(あまり実態は把握できませんでしたが。)
- ・風邪を引かないよう、手洗いとうがいを励行させ、健康面と食事の栄養面に気をつけた。本人の予定通りに勉強が進むように、食事の時間などを配慮した。
- ・健康管理と精神面のサポート。
- ・子供を信じて、やりたいようにやらせるようにしました。
- ・温かく見守るはずが、娘に苛立ち、文句を言い、衝突ばかりしていた最低の親でした。特に3年秋の学園祭では重責を担いそれまでの順調な受験生活が一変。長い目で見ればそれは素晴らしい体験とわかっているも受験生の親としては苛々の日々。密かに浪人を覚悟しました。結局、娘の方が冷静で、自分が落ちるはずがないと変な自信を持っていて“強さ”を感じました。
- ・志望校を決めるにあたり将来を見据えることも大切な考え方の一つとして、本人ともよく話し合いました。
- ・健康管理…といっても、食事を作るくらいでしたが…。
- ・基本は体。体は食べる物のみで維持・形成されているゆえに、食事に万全を尽くした。
- ・体をこわさないようにすること。
- ・主人は単身赴任。私は仕事があったので、子供が一人で考え勉強する環境でした。娘と私はベッタリな関係で来ていたので少し距離を置く機会になりました。受験を通して自分と向き合い、孤独感と戦い、それを乗り越えて成長してほしいと願っておりました。栄養と睡眠時間には気を使いました。
- ・体調の管理・維持。
- ・心身の状態が平常に保てるよう、心掛けた。母親としては食生活面でしか協力できなかった。

◆国立医学部進学者

- ・食事と睡眠をきっちりとらせること。また、不安な時、よく話を聞いてやり、前向きに考えられるよう努めた。
- ・高校生活も大切に言うように言っていた。また、心身共に気力を持って過ごせるように努めた。
- ・身体が一番。3年の6月に腰を悪くして手術をするしないで大変でしたので、なるべく運動は最後までやっていたほうが良いと思います。

◆慶應・早稲田進学者

- ・細かく口は出さずに、しかし、子供の様子は注意深く、よく見ていること。そしてSOSが出たときには全面的にサポートすること。塾の送り迎え、健康・食事などは過保護かと自分でも思いましたが、できることはすべてしました。ただ、わがままにならぬよう、学校生活、日々の生活を大切にさせることも心掛けていました。
- ・生活面のサポートのみです。
- ・むしろ反省を込めてなのですが、中学受験とは逆に距離を置いてつき合った方が良いのではないかと思います。特に成績などに感情的に反応するのは本当にやめた方が良いでしょう。教訓めいたことを色々言うのもあまり効果ないです。
- ・子供は体調がすぐれないと精神的にもかなり影響するので、第一に健康管理に注意し、勉強に対するモチベーションを上げることに気をつけました。
- ・食事の栄養バランスについては気を使いました。風邪をひかないようにビタミン類。受験直前にはカキやアサリも多く使いました。
- ・体調管理が主です。男の子ですので就職のことも意識できるように、兄も交え学部を考えました。

6. グノーブルについて

- ・ GNOBLE には楽しそうに通っていました。子供から「先生方のレベルが高い、すばらしい授業」と聞いていました。：東京大学・文科一類(筑駒出身)
- ・ 合格の決め手は本人の英語の学力が増したことにあったと理解しております。先生を尊敬していたのでいつも張り切っていました。：東京大学・文科二類(学大附出身)
- ・ 息子の「先生について行く」の一言で、すべてをおまかせする事に決めました。今後の先生方の益々のご活躍とグノーブルのご発展を心よりお祈り申し上げます。：東京大学・文科一類(開成出身)
- ・ グノーブルでは周りの生徒からも刺激を受けられ、自分の習いたい先生に習え、本人のやる気が湧いたと思います。：東京大学・文科二類(開成出身)
- ・ 先生方の熱き指導のおかげで、娘の英語力は確実に伸びたそうです。(本人談) 本当にありがとうございます。：東京大学・文科三類(学大附出身)
- ・ GNOBLE に出会えて、英語に対する取り組み・考え方が変わったようです。苦手とする科目でしたが克服できたようです。(留学も考えているようです。)：東京大学・理科一類(学大附出身)
- ・ 息子は教材に信頼を置いていたようです。学校の友人等とは違う友人関係を築いて価値観を広めていました。：東京大学・理科一類(麻布出身)
- ・ 塾に行くのは楽しみだったようです。先生がすばらしいと言っていました。やはり合格は塾のおかげだったように思います。：東京大学・理科二類(学大附出身)
- ・ 中山先生の大ファンで、して下さったお話に「感動した」と目をうるませていたこともありました。純粹で一途な先生のお人柄が子供を元気づけて下さった様です。：東京大学・文科三類(都立日比谷出身)
- ・ グノーブルとの出会いは娘がスランプの真只中にある時でした。通わせていただくようになって、気持ちが落ち着き、英語の力も伸び始めました。：東京大学・文科三類(都立日比谷出身)
- ・ グノーブルの先生の授業は本当に良かったと今も息子は言っています。(駒場の英語の授業と比較して、ということだそうです。)：東京大学・文科一類(学大附出身)
- ・ 本人に合う塾にめぐり会えば未来は明るく、そうでないと失敗するのではないのでしょうか。グノーブルと出会い、合格できました事、感謝いたします。ありがとうございます。：東京大学・文科二類(筑駒出身)
- ・ 息子はとにかく“我が道を行く”タイプで、塾もグノーブルのみ。とても楽しそうに通っていました。秋好先生のことを尊敬し、好きだったようです。：横浜国立大学・医学部(開成出身)
- ・ 先生を大変信頼していた様子でした。添削が丁寧で作文力も向上し、実力のつく英語指導であったと思います。：筑波大学・医学群医学類(桜蔭出身)
- ・ 本人はなかなか思ったように点数がとれず英語について困っていたようですが、親が見ていると、どの模試を受験しても英語が一番安定しておりました。親としては大変感謝しております。：東北大学・医学部(学大附出身)
- ・ 合格した時、一番最初にグノーブルにダイヤルしたところを見ると、本人が一番グノーブルを信頼して、大好きだったのだと思います。：東北大学・医学部(学大附出身)
- ・ TOEIC900 点取り大学の英語授業免除になり、その自由時間で娘は自動車の免許を取りにいています。これも GNOBLE の英語で鍛えられたからだと感じています。：岐阜大学・医学部(学習院女子出身)
- ・ 娘は、もう一度通いたい塾はグノーブルだけと言っていました。：一橋大学・社会学部(学大附出身)
- ・ とても感謝しています。英語はかなり学力が伸びたようで、本人もとても自信になりました。：一橋大学・社会学部(海城出身)
- ・ 高校が国立でしたのでほぼ 90% 塾を頼っていました。英語の力はすごく伸びたと思います。一橋の入試問題は、わからない単語はなかったそうです。：一橋大学・社会学部(お茶の水出身)
- ・ グノーブル発足の際、迷いなく最初から通い始めた(本人曰く“当たり前でしょ”)のはやはり先生方が良かったからと推察している。：東京工業大学・第 5 類(白百合出身)
- ・ グノーブル入塾は本人が全てを決めました。質の高い熱心な授業を提供し続けて頂きたいと願っております。：慶應大学・法学部(田園調布雙葉出身)
- ・ 授業には前向きに取り組んでいたようです。毎回添削して頂けるのがとても役に立っていたようです。：慶應大学・理工学部(海城出身)
- ・ 文脈から単語は理解し、頭を使わないと授業についていけなくなる授業・テキストの作り方は素晴らしいと思います。先生方が熱心で、また、皆の名前を覚えて下さる事もありがたく思いました。：慶應大学・文学部(東京女学館出身)
- ・ 入学式当日 TOEIC のテストがあり、GNOBLE の御指導のお陰で一番上のクラスに入れました。息子は GNOBLE の授業をいつも絶賛しておりました。本当にありがとうございます。：慶應大学・商学部(暁星出身)
- ・ 下校後、グノーブルの始業に間に合わない事もあったと思いますが、「距離があってもグノーブルで教えて頂く」という意志が強かったようです。：早稲田大学・国際教養学部(桐光学園出身)
- ・ 受験校を悩んでいたときに本原先生にご助言を頂き、また上智の二次試験の前には、丁寧な英文文のコメントを頂戴し、娘は感激しておりました。：上智大学・外国語学部(白百合出身)
- ・ 先生方への信頼度は 100% で、尊敬しておりました。大学での授業も高度な内容ですが、先生方のお教えが役立っているようです。一生の財産を頂きました。：慶應大学・商学部(湘南白百合出身)